

ChacottCHAMPIONSHIPS

第44回全日本ジュニア新体操選手権大会

要 項

主催:公益財団法人 日本体操協会 主管:群馬県体操協会 後援:高崎市、公益財団法人 高崎財団
 特別協賛:チャコット株式会社
 協賛:伊藤超短波株式会社 株式会社 KG セノー株式会社 セイコーグループ株式会社
 TSP 太陽株式会社 株式会社コムズマ

1. 期日 2026年11月27日(金)～29日(日)

11月26日(木)	セッティング／男女審判研修／個人公式練習／代表者会議
11月27日(金)	開会宣言 男女個人総合競技(男子:スティック・リング／女子:フープ・ボール)
11月28日(土)	男女個人総合競技(男子:ロープ・クラブ／女子:クラブ・リボン) 個人競技メダルセレモニー及びクロージングセレモニー
11月29日(日)	団体公式練習 男女団体競技(男子:徒手／女子:リボン5) 団体競技メダルセレモニー及びクロージングセレモニー

2. 会場 高崎アリーナ 〒370-0846 群馬県高崎市下和田町四丁目 1 番 18 号 TEL027-329-5447

3. 出場資格と条件

- ① 2026年度、(公財)日本体操協会に選手登録した者とします。
- ② 男子は2026年4月2日現在に小学4年生から中学3年生の者とします。
- ③ 女子は2026年12月31日までに11歳から15歳になる者とします。
- ④ 次に該当するものは、全日本ジュニア新体操選手権大会に出場する資格を得ることができます。
 なお、各ブロックとも予選会を実施して下さい。

ブロック	個人競技						団体競技					
	男子			女子			男子			女子		
	基準枠	配当	計	基準枠	配当	計	基準枠	配当	計	基準枠	配当	計
北海道	上位3名	6	9	上位3名	0	3	上位1チーム	1	2	上位1チーム	0	1
東 北	上位3名	4	7	上位3名	0	3	上位1チーム	2	3	上位1チーム	0	1
関 東	上位3名	1	4	上位3名	9	12	上位1チーム	1	2	上位1チーム	4	5
北信越	上位3名	0	3	上位3名	1	4	上位1チーム	0	1	上位1チーム	0	1
東 海	上位3名	5	8	上位3名	2	5	上位1チーム	2	3	上位1チーム	2	3
近 畿	上位3名	1	4	上位3名	4	7	上位1チーム	0	1	上位1チーム	1	2
中 国	上位3名	0	3	上位3名	0	3	上位1チーム	1	2	上位1チーム	0	1
四 国	上位3名	0	2	上位3名	2	5	上位1チーム	0	1	上位1チーム	2	3
九 州	上位3名	4	7	上位3名	2	5	上位1チーム	3	4	上位1チーム	1	2
クラブ 選手権							上位3チーム		3	上位3チーム		3
強化本部 推薦枠				1								
合 計	48名			48名			22チーム			22チーム		

- ⑤ 団体競技の出場は、同一所属から1チームのみとします。団体競技出場選手が個人競技にも出場することができます。
- ⑥ 男子団体競技は、1チーム最大8名の選手とします。
- ⑦ 女子団体競技は、1チーム最大6名の選手とします。
- ⑧ 男女個人競技は9ブロックからそれぞれ3名が出場できます。また、**前年度の全日本ジュニア選手権大会において、男子上位21名、女子上位20名までの選手が所属したブロックに出場権を配当します。**
女子は強化本部推薦枠1名出場資格を与えます。なお、強化本部推薦がない場合は、前年度のジュニア選手権大会の成績により次点ブロックに配当します。
- ⑨ **男子個人競技について、ブロックに配当されている基準枠を2年続けて充当できないブロックに関しては3年目より1枠減枠するものとします。**またこれにより減枠される下限は2枠までとします。複枠を希望する際には当該年度のブロック予選大会の結果を男子新体操委員会に報告しその内容を協議した結果認めるものとします。またその際に下限の2枠まで減枠されていた場合は1枠のみの複枠とし、申請があった年度より順次複枠していくものとします。
余剰枠があった場合には前年度の全日本ジュニアの成績に基づき、**次点の順位の選手が属するブロックへ順次配当するものとします。**女子個人競技について、本会の事業において選手対象になった者がいるブロックでは、その選手のブロックからの次点選手が出場することができます。
- ⑩ 男女団体競技は9ブロックからそれぞれ1チームずつ出場できます。また、**前年度の全日本ジュニア選手権大会での上位10チームが所属したブロックに出場権を配当します。**余剰枠があった場合には前年度の全日本ジュニアの成績に基づき、**団体11位のチームが属するブロックへ順次配当するものとします。**
- ⑪ 女子団体競技は該当年度に実施される「全日本新体操クラブ団体選手権大会」**ジュニアの部上位3チーム**にも出場権を与えます。通過にあたり同点の場合は、FIG競技規則に準じタイブレークを行います。なお、出場権を与えられたチームがブロックからの出場権を得た場合は、**クラブ団体選手権大会成績より順次繰上げ出場となります(ブロックからの出場権が優先され、クラブ団体選手権の出場権は他のチームに再配当となる)。**
- ⑫ 男子団体競技は該当年度に実施される「クラブ選手権大会」**ジュニア団体の部上位3チーム**にも出場権を与えます。通過にあたり同点の場合は競技規則1. 4. 9に準じタイブレークを行います。なお、出場権を与えられたチームがそれぞれのブロックから既に出場権を得ている場合は、**クラブ選手権大会成績より順次繰上げ出場となります(ブロックからの出場権が優先され、クラブ選手権の出場権は他のチームに再配当となる)。**
- ⑬ 女子「全日本新体操クラブ団体選手権大会」及び男子「クラブ選手権大会」で出場権を獲得したチームは、次年度のブロック枠獲得の対象にはなりません。該当チームが10位以内となった場合、順位を繰り下げてブロック枠を配当します。
- ⑭ (公財)日本体操協会より推薦された選手及びチーム。
- ⑮ 個人選手の出場所所属名の記載は2所属*1まで可能とします。なお、申込所属団体(チーム)名が第一所属(2所属表記の場合前表記)となります。

4. 競技種目と競技方法

〔競技種目〕

	個人競技	団体競技
男子	スティック・リング・ロープ・クラブ	徒手
女子	フープ・ボール・クラブ・リボン	リボン5

〔個人競技〕

- ①個人総合選手権は、4種目の得点合計により順位を決定します。
- ②個人種目別選手権は、各種目の得点により順位を決定します。

〔団体競技〕

男子・女子とも自由演技のみとします。

5. 採点規則

〔男 子〕(公財)日本体操協会 新体操男子2025年版採点規則 変更規則1 新体操男子ジュニア適用規則を採用します。

〔女 子〕(公財)日本体操協会 新体操女子2025—2028年版採点規則ジュニアルールを採用します。

6. 表彰

個人総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状／2位・3位 メダル・賞状／4位～8位 賞状

個人種目別選手権 1位～3位 メダル・賞状／4位～6位 賞状

団体競技 1位 優勝杯・メダル・賞状／2位・3位 メダル・賞状／4位～8位 賞状

※ 同点は同順位として表彰します

7. 参加料

個人競技: 16,500 円

団体競技: 1人あたり16,500 円(6名エントリーの場合16,500円×6名=99,000円)

※日本著作権協会(JASRAC)規定による著作権料負担金を含みます。

8. 参加申込

① 締切期日 2026年10月21日(水) **17時59分まで**

② 申込方法 web 登録ページ (<http://jga-web.jp/>)にて手続きを行って下さい。

☆ 注 意 ☆

参加料ご入金をもって、申し込み完了となります。

試技順抽選終了後の棄権については、参加料は返金しません。

振り込み控え書は各所属で大切に保管して下さい。申込確定後の変更・追加は受付しません。

9. 出場辞退について

出場資格を得た選手及びチームが本大会への出場を辞退する場合、10月21日までに辞退届を提出して下さい。

10. 試技順抽選について

抽選日: 2026年10月23日

※ 全ての試技順抽選は参加申込み時に大会本部へ委任したとし、大会本部((公財)日本体操協会事務局)のみで実施します。

11. 運営に関する事項について

① 競技時程及び練習時程については、試技順抽選後に詳しくお知らせします。

② AD(Accreditation)カード^{*2}は、大会関係者全てに発行されます。役職、配布枚数は付録をご覧ください。

③ 伴奏音楽について

演奏方法: 伴奏曲の演奏はCDとします。

(オーディオ CD 形式(CD-DA)で作成してください。必ず予備を用意して下さい)

再生機器: 伴奏音楽再生機器は大会本部が用意したものを利用して下さい。

④ 部旗・応援旗の掲出について

会場内掲示の旗は各所属1枚とし、その大きさは最大4m²とします。また体育館側より「広告」と判断された応援旗につきましては広告料が発生しますので、大会本部・体育館・諸団体とで話し合い、処理させていただきます。なお、掲載方法については、試技順抽選終了後に連絡します。

- ⑤ 炭酸マグネシウムについて
下記の使用方法を厳守し使用可能といたします。
 - (ア) 粉末タンマは指定されたエリアのみで使用する
 - (イ) 会場内を移動する際はインシューズまたはサンダルを着用を義務付ける
 - (ウ) 粉末タンマを使用したチームは適宜清掃を行うことを義務とする
 - (エ) 演技開始時はフロアサイド、前面からの入場を禁止し、フロア後方辺のみより入場を制限するものとする

12. 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ① 本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中(競技終了まで)スポーツ傷害保険をかけます。詳細は別途ご案内いたします。
- ② 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ③ 大会参加者は健康保険証を持参して下さい。

13. その他

- ① Web 版プログラム掲載用演技写真の送付について
団体よこ長・個人たて長の JPG データ(100kb 以上)を参加申込締切期日までにメールにて送付して下さい。
【アドレス:shintaiso@jpn-gym.or.jp】件名には「全日本ジュニア写真:所属名」を記載して下さい。
※用紙印刷されたプログラムは作成いたしません。
- ② 演技写真・映像撮影およびSNSによる広報活動について
 - (ア) 本大会は記録のため、写真と映像を撮影します。本協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとし、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。これらの行為に対し大会期間中、事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
 - (イ) 撮影は許可されたエリアからのみとし、観客席からの撮影は禁止です。なお、撮影者は AD カード保持者のみとし、保護者などによる撮影はできません。
 - (ウ) 競技普及や体操への人気拡大の目的で、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規定に基づく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがございます。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式HP、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)に掲載いたします。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、大会期間中、大会事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ③ 所属の車両乗り入れについて
大会申込み後に連絡いたします。

付 録

* 1. 2所属記載の注意事項

- (1) 学生(高校生以下)の**個人競技**参加者は希望により、登録所属団体名を2つまで表記することができます。
 - ① 学校名等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
 - ② 登録時に双方の所属に選手登録をしておいて下さい。登録の確認ができない場合は2所属表記できません。
 - ③ 申込をした所属団体名が第1所属名となります。
- (2) 2所属表記をした場合の文字数について。
 - ① 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
 - ② ①における制限に対し、文字数が多い場合、2所属表示ができない場合があるため、区切り、合計12文字以内の略称を申告してください。競技帳票・場内表示等に使用します。
例: ○○○○クラブ / □□中学校
 - ③ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
 - ④ ①②の申告がない場合、大会本部にて優先する表記を決定する場合があります。
- (3) 申し込み完了後の選手変更は原則出来ません。

* 2. AD カードの発行とゾーニング

- (1) 本協会へ選手、選手以外の登録を完了した方のみに、参加申込時に申請された選手・監督・コーチ・トレーナーにADカードを発行します。会場では必ず首から下げて着用して下さい。
- (2) ADカード使用に際しては、不正使用のないようにして下さい。
- (3) ADカード発行者の大会当日変更(例:コーチ変更)は認められません。何らかの事情が生じ、変更が必要となった場合は、大会本部が定めた期日内(大会開催前)に理由を添えて申請して下さい。
- (4) 各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

〔個人競技:発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	「監督」とはチームの引率責任者のことです。 大会期間中は、選手団席以外の競技エリア※に入ることができません。 コーチ申請も可能です。 ※選手団席以外の競技エリアとは: 競技フロア(フェンス内)、競技会場(メインアリーナ) 練習会場(サブアリーナ)、ウォーミングアップ会場 のことです。
コーチ	1枚~数枚 最大個人出場 選手数分まで	● 「コーチ」とは帯同コーチ(各選手指導者)のことです。 ● 申請できるコーチは選手1名につき1名までとします。 ● 公式練習時は、全ての競技エリア※に入ることができます。 ● 競技中は、競技フロア(フェンス内)以外の競技エリアに入ることができます。
選 手	出場人数分	出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚または2枚 同所属で複数選手が 出場する場合は2枚	● 公式練習時及び競技中は、競技会場(メインアリーナ)と練習会場(サブアリーナ)の音楽席に入ることができます。 ● ※所属の音楽係を帯同しない場合は、個人コーチ AD または個人選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	● 医療関係者、資格所有者、または日常的にトレーナーとして従事している者で、治療及び応急処置ができる者に限ります。競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技フロア内に入場できます。大会中に資格を証明するものの提示を求められる場合があります。大会期間中は常時携帯してください。(電子も可)。 ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 公式練習時及び競技中は、競技フロア(フェンス内)外に待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は、競技フロア(フェンス内)に入ることができます。
【各競技エリアにおける入場人数制限】 競技会場(メインアリーナ) [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内 練習会場(サブアリーナ) [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内 ウォーミングアップ会場 [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名の3名以内		

〔団体競技：発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	● 「監督」とはチームの引率責任者のことです。 ● 大会期間中は選手団席以外の競技エリア※に入ることができません。 ● コーチ申請も可能です。 ※選手団席以外の 競技エリア とは： 競技フロア（フェンス内）、競技会場（メインアリーナ） 練習会場（サブアリーナ）、ウォーミングアップ会場 のことです。
コーチ	最大2枚まで	● 「コーチ」とは帯同コーチ（各選手指導者）のことです。 ● 申請は、団体 1 チームにつきコーチ2名までとします。 ● 公式練習時は、全ての競技エリア※に入ることができます。 ● 競技中は、競技フロア（フェンス内）以外の競技エリアに入ることができます。
選 手	出場人数分	出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚	● 公式練習時及び競技中は、競技会場（メインアリーナ）と練習会場（サブアリーナ）の音楽席に入ることができます。 ※所属の音楽係を帯同しない場合は、団体コーチ AD または団体選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	● 医療関係者、資格所有者、または日常的にトレーナーとして従事している者で、治療及び応急処置ができる者に限ります。競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技フロア内に入場できます。大会中に資格を証明するものの提示を求められる場合があります。大会期間中は常時携帯してください。（電子も可）。 ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 公式練習時及び競技中は、競技フロア（フェンス内）外に待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は、競技フロア（フェンス内）に入ることができます。
【各競技エリアにおける入場人数制限】 競技会場（メインアリーナ） 〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の12名以内 〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の10名以内 練習会場（サブアリーナ） 〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の12名以内 〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の10名以内 ウォーミングアップ会場 〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の10名以内 〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の9名以内		